

2 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	31	現在、週3回程度のペースで、お客様のご要望に柔軟に対応して、入浴介助を実施している。衛生面への配慮と社会性の維持という2つの観点から、お客様個々の入所までの生活習慣を大切にしつつ、(特に夏場について)入浴回数を増やせるようにしていきたい。	お客様個々の入所までの生活習慣を把握し、それに配慮した上で、入浴の必要性とご本人の希望に応じて、週3回以上の入浴介助にも柔軟に対応できる体制を整え、サービスの水準の維持・向上を図る。	①お客様個々の入浴の必要性とご本人の希望について、アセスメント及びモニタリングを実施する。 ②計画に落とし込み、具体的な入浴介助の方法と頻度を明文化する。 ③月間、週間、1日単位での業務の流れを見直し、人員配置等を考慮した上で、月間のユニット毎のサービス提供計画を立てる。 ④計画に基づいたサービス提供の記録を残し、その結果と評価を次期計画へ反映させる。	12か月
2					か月
3					か月
4					か月
5					か月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。